

12月 どうぐみだより

2023年度・12月号
尚徳福祉会 生麦保育園

クリスマスのイルミネーションが輝く季節になりましたね。おたのしみ会に向けて、子どもたちの気持ちも盛り上がってきています。「〇〇の練習しようか」の声掛けに「やる!」「やりたい!」とみんなで集まって練習に励んでいます。子どもたちの意欲的な気持ちもどんどん成長しています。本番までワクワク、ドキドキを子どもたちと共に楽しみにしててください。風邪やインフルエンザが流行する時期でもあるので、手洗い・うがい、栄養バランスの良い食事や十分な睡眠をご家庭でも心掛けて、みんなで寒さに負けないよう過ごしていきましょう。



焼き芋会・高砂会交流

6月頃に植えたサツマイモの苗に、水やりをしたり、野菜くずの肥料をあげたり育ててきました。芋ほりの季節となり、ついに収穫の日を迎えました。丸々と太ったサツマイモもあり、「こっち手伝ってー!」とみんなで協力してツルを引っ張り、小さいのから大きいのやまん丸から細長いなど色々な形に興味津々な様子で、たくさんのお芋が収穫できました。焼き芋会当日、焼き上がりまでは高砂会の方と交流し自己紹介をしたり、折り紙やコマを教えてもらったり、卓球にも挑戦して高砂会の方と対戦しあうなど盛り上がりました。楽しい時間を過ごし、焼き芋は園庭に出て食べました。青空の下で食べる焼き芋は美味しさも倍増!「おいしいね!」「おかわり!」と自分たちで収穫したさつまいもは、また一段と美味しかったようで、満足そうな表情が見られました。高砂会の方とも遊びを通して、会話を楽しんだり、質問に答えたり、給食を一緒に食べながら楽しい時間を過ごせました。



おたのしみ会

歌や合奏に劇遊びの練習を毎日楽しみながら、取り組んでいるぞう組です。歌は、歌詞を壁に貼り出すと、文字に興味を持っている子が多いので、遊びの合間に見て覚えている様子や紙に書き出している子とそれぞれに考えながら自分で工夫している姿が見られました。手話も一人一人、覚えようとする姿勢がよく見られ、楽しそうに覚えて歌っています。合奏は、楽器遊びを通して楽器に触れながらやりたい楽器を決めて、パートごとの練習から、全体で合わせた時の音を出す楽しさや喜びを感じている様子が見られました。子どもたち自身、経験しながら自信に繋がるよう見ていきたいと思えます。劇遊びは、ぞう組らしい演目で、役になりきって練習しています。衣装作りや小道具に大道具も自分たちで、考えたり工夫したりと張り切って、満足するまで作っています。イメージを持って、個性豊かな衣装や小道具に、背景はグループ同士で話し合いながら、協力し合って素敵な背景ができたので、注目して見ていただきたいです。一人一人が主役なので可愛い、凛々しい姿を楽しみにしててください。

